

# 「教育関係室」室方針

室長 市川 裕光

## 【基本方針】

社会は常に変化を伴い進化したのち、成長社会から成熟社会へと移行しています。子どもたちが欲しい情報は、インターネットに代表されるように容易に収集でき、結果、自ら作り出したり探究心を深めたりする姿勢が薄れているように感じます。一方大人は、他との差別化を図る事が困難になり、成果を見出しづらい現状に疲弊し、ポジティブな行動力が停滞していると感じます。地域の発展のため、また次世代の地域を担う子どもたちの育成のためには、自ら行動し考え、実践していく姿勢を取り戻さなければなりません。

当室では、子どもたちには夢や希望を持つ事、そしてその夢に向かって努力することが、いかに重要で大切な事かを養っていきます。成長過程にある子どもたちにとって、様々な体験に触れること、経験を積むことは重要です。彼らの将来は未知数であり、それらを経験することで大きな可能性を秘めています。決して大人の都合で抑制することなく、大小いろいろな夢の話聞き出す、反対に我々大人も夢を熱く語る体験・経験する場を提供してまいります。また子どもたちの成長の模範となる親・大人には、頑張る姿、大人としての自信と自覚を持つ事の重要性を考えていただき、実際に身を持って子どもたちに対して「やってみせる」という意識付けを行い、教育を考え活動してまいります。更に、これまで過去の事業で培った、行政・学校・教育関係団体等との連携・情報の共有は、引き続き有効な手段であり、さらに深化をしていくなかで、それぞれの地域とのつながりや協働も、教育を考える上で重要な位置づけになります。上越市で4月より導入を決定しているコミュニティスクールは、J Cの特性が十分に活用され得る会議体だと感じます。J Cのネットワークや情報の提供をすることで連携してまいります。

我々も一人の親であり、地域の大人であります。まずは我々JAYCEEが、自ら率先して行動・実践し、語っていかなければ説得力がありません。事業の対象として、子どもたち・大人の切り口になりますが、それぞれの委員会活動が、全ては子どもたちの成長のため、そしてその子どもたちが次世代の地域を担う人財となることを確信します。

## <運営方針>

1. 背中で語るに相応しい、一人の親・大人・JAYCEEとしての行動力・組織力を展開します。
2. 同室の事業の相互理解と協力・協働に努め、参画します。
3. スタッフをはじめ、それぞれの役職をしっかりと遂行していくよう育成と教育を実施します。